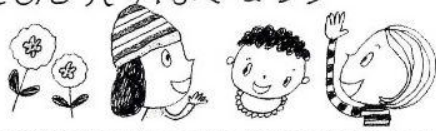


ゆりかご園だより

1期(4・5月)のねらい

新しい先生・ともだちと仲よくなる

2022-5-1



先月末、新型コロナウイルスの感染の波がゆりかごも直撃。複数の陽性者が確認され、一部休園の措置をとらざるを得ない状況になりました。「感染の可能性のある方」に対しては健康観察期間のお休みをお願い

し、保護者の皆さまにはご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。

今後も感染拡大の防止に、ご理解とご協力をお願い致します。

さて、先月のはじめには、新年度を迎えた保育園に、新しい環境へとびたつ子どもたちが顔を見せに来てくれました。新小学一年生、新中学一年生、新高校一年生、中でも中学生になった子たちは誘い合い、時間を合わせて10家庭以上が一緒に来てくれました。卒園後も交流している子どもたちですがコロナ禍では集まりたくてもなかなか集まらない状況に、子どもたちだけでなく大人たちもガッカリしていたと思います。久しぶりに会う顔に「やっぱりこうして保育園に集まるの、て本当にいいですね」としみじみ言っていた大人たちです。

父母の会主催の新入園家庭歓迎会、バザー、夏まつり、おやじの会主催のあつかんパーティー。子どもたちの喜ぶ顔が見たくて、大人たちが協力し合って開催してきた飲食を伴う行事が次々と中止になり、コロナ禍前を知っている方々の中には物足りなさを感じている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。コロナ禍後に入園された方はピンと来ないかもしれませんが、卒園後もつながっている子どもや大人たちを見ると、行事や懇談会など、大人が当時「大変だなあ」「面倒だなあ」と思っていたことは、「大変だったけれど良い思い出になったなあ」「面倒だったけれど、子どもは喜んでいたなあ」と後から思い返してもらえているのかなと思います。

再会を楽しむ時間はあ、という間に過ぎてしまいました。気兼ねなく集まれる日が早く来てほしいし、コロナ禍前のように親子で行事を楽しむように親子で行事を楽しむようになってほしいものです。

久しぶりに園を訪れた子どもたちは、展示食を見て、「今も〇〇、て給食に出るの?」「〇〇、て大好きだったなあ」と給食もなつかしがっていました。ゆりかごの給食については次月に...

